

トピックス
TOPICS 2

高齢者叙勲
落合 悦郎 氏(寺内)

落合悦郎氏が地方自治功勞により「瑞宝双光章」を受章され、10月31日に叙勲伝達式が行われました。

落合氏は昭和33年から平成3年の32年間、尾花沢市職員として務められた後、平成6年3月から平成10年8月までの4年4カ月の間、尾花沢市助役として本市政の発展に多大な貢献をされました。これまでのご功績に敬意を表します。



▲市長より勲章と勲記を手渡された落合氏(写真左)

※瑞宝章：国家または公共に対し功勞があり、特に公務等に永年にわたり従事し、功績をあげた方に授与される章です。

トピックス
TOPICS 1

市民文化祭
山形県少年少女俳句大会

10月31日から11月3日にかけて市民文化祭が開催されました。11月3日には「山形県少年少女俳句大会」の表彰式も行われ、会場となったサルナートには、大勢の市民が訪れました。

今年の文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者を市民限定としましたが、展示会場のサルナートには絵画や様々な手作り作品などがテーマごとに並び、訪れた市民は作品をじっくり見て回っていました。また、コンベンションホールでは、尾花沢雅楽やまつりばやし保存会の演奏、踊りやバンド演奏などの発表が行われ、出演者の皆さんは、日頃の練習の成果を披露しました。催物では、尾花沢囲碁愛好会の囲碁大会や、気象ものさし研究会による「R3 長期天候予想ゼミナール」も行われ、文化の秋にふさわしい充実の4日間となりました。



▲サルナートアリーナに展示された作品。家族連れなどたくさんの市民が鑑賞していました。

トピックス
TOPICS 3

監査委員功勞表彰
高宮 徹哉 氏(臈気)

高宮氏は平成18年9月に尾花沢市監査委員に任命されてから、14年にわたり監査委員を務め、令和2年9月30日をもって退任となりました。この間高宮氏は、市各部署、消防本部、各行政委員会の財務や事務事業が適正に執行されているかを監査されてきました。これまでのご功績に敬意を表します。



▲市長より表彰状を手渡された高宮氏(写真左)

監査体制が新しくなりました
(令和2年10月1日より)

- 代表監査委員 小林 秀也
- 監査委員 菅原 和子

※敬称略



▲まつりばやし保存会の演奏。夏の花笠まつりの賑やかさが思い起こされました。



▲尾花沢雅楽保存会による「越天楽」の演奏で公演の部がスタート。



▲「想思コラボコーナー」など展示にも工夫が凝らされ、鑑賞しやすくなりました。



▲サルナート入口にずらりと並んだ観賞用菊は、全て吉田さんお一人によるもの。



▲日本舞踊の伝統芸能から、社交ダンスやフラダンス、詩吟やバンド演奏など様々な団体がコンベンションホールで公演を行いました。



トピックス
TOPICS 4

郷土を護る消防団員表彰
三浦 雅彦 氏(行沢)

市消防団第3分団長の三浦雅彦氏が、若者の消防団離れが進む中、地域住民と協力し、消防団活動推進に尽力されたことが認められ、「(一財)山形県消防協会の「郷土を護る消防団員」として表彰されました。

三浦氏は昭和58年4月に消防団員となって以降、長きにわたり消防団活動に従事されています。「長く消防団をやっていると、皆さんから助けていただいたおかげです。」と三浦氏。これまでの功績に深く感謝するとともに、これからの益々の活躍に期待します。



▲10月23日、受賞の報告で市役所を訪れた三浦氏(写真中央)

第31回 山形県少年少女俳句大会 表彰式

11月3日、山形県少年少女俳句大会表彰式がサルナートコンベンションホールにて行われました。表彰式は尾花沢中学校の生徒が受付・案内や司会、歓迎のことばや入賞者の俳句披露、賞状伝達を担当しました。

今年は県内の小中学校から4千33句の投句があり、小中学生合わせて延べ45句が賞に選ばれました。表彰後の講評では、選者の大類つとむ先生より「自分の目で観察し、見つけた瞬間にあつと思つたものを俳句にしてください。」と入選者にアドバイスされました。

※入賞作品は12ページで紹介しています。